

新しい生活文化を発信する

# アム

# 12/1

2002(平成14)年  
年3回 8月・12月・4月 発行

## NO.5

発行 / 立川市  
編集 / 文化児童部女性総合センター  
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2  
042-528-6801 FAX042-528-6805

# もっと身近に、立川市政

市政は、私たちにとって最も身近な政治です。

市政など自分には関係ないと思っている人がいるかもしれませんが、

でも、一人ひとりの市政への参加意識が、

私たちの住むこの立川を、住みやすい、よりよいまちに変えていくのです。

市政を知り、どのような参加のしかたがあるのか、自分に何ができるのか、

立川市子<sup>たち</sup>さん<sup>の</sup>の体験をおして、一緒に考えてみましょう。



議事堂外観

これが立川市の  
市議会ね!!

傍聴受付



## 市政の主役は私たち

朝ごみを出せば収集車がやってくる、子どもが学校で歯科検診を受ける、お年寄りがデイサービスを受ける、図書館で本を借りる……これらは、立川市から私たちが受けている行政サービスの例です。男女共生社会をめざす拠点である女性総合センター・アイムの設立も、同様に行政サービスです。そして、このような行政サービスのあり方などを決めることが市政です。市政が身近になってきましたか。

行政をあげる市長を選ぶのは私たちです。市長が市民生活全体を展望し、まちづくりの指針を立て、税金の使い方を検討し、それを審議・議決するのが市議会です。その議員を選ぶのも私たち。そして、市政を運営するための税金を納めているのも私たちです。つまり、私たちが市政の主役

というわけ。だから、もっともっと市政に目をむけ、市政の場に参加してもよいのではないのでしょうか。

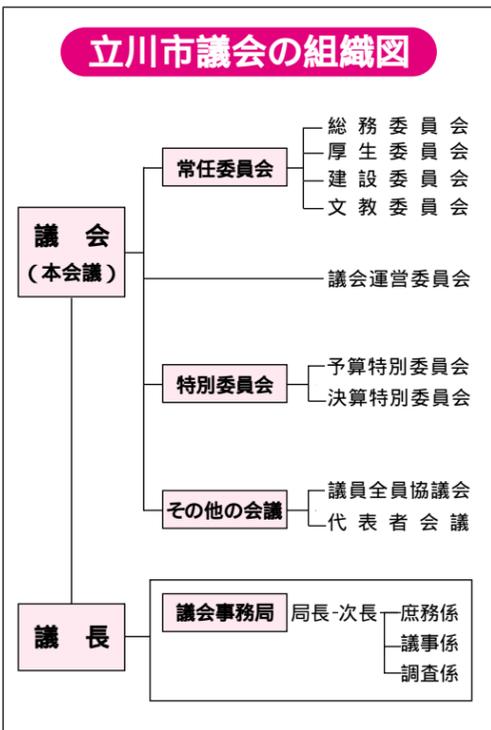
さて、その参加の方法にはどんなものがあるのでしょうか。選挙で私たちが市政に送った市議会議員のその後の活動を知り、市政の動きを知るために、市議会を傍聴するのもよいでしょう。審議会等は傍聴だけでなく、公募により直接参加して意見を言うこともできます。また、要望を聞いてもらいたいときは、請願という方法もあります。誰でも市政に参加し、意見を反映させるチャンスがあるのです。

立川市子さんが、議会の傍聴や請願を体験しました。その体験談を読んで、あなたも市政をより身近に感じてください。さあ、次はあなたの出番ですよ。

本会議場



### 立川市議会の組織図



議会は、住民から直接選挙で選ばれた議員（定数32人）により構成された自治体の意思決定機関である。行政の複雑化、専門化に対応し、能率的運営を図るため、予備審査機関として委員会を設置している。議会活動が円滑に運営できるように庶務的業務や議長・議員の職務を補助する組織として事務局が設けられている。

### 議会の仕組みを知ろう

今日は、本会議一般質問の日です。初めて立川市議会を傍聴に来ました。議事堂は、市役所の門を入って右手にあり、傍聴者は正面入り口からではなく、裏の外階段から入ります。2階で受け付けをしてドアの先へ進み、議場が一望できる傍聴席に座りました。これから一般質問が始まります。

最初の質問者は、新人女性議員。初めてのなのに、壇上で堂々と発言しています。事前にいろいろ調査し、勉強したようです。市営住宅のこと、西武線の駅のことなど身近な問題を質問しているのを聞くと、議員というのは私たちの代弁者なのだと思えます。だから、私たちの声を議員に届けることが大切ですね。質問が終わると、議員席全体から、新人議員を励ます暖かい拍手があげられました。それにしても、議場は男性ばかり。議員を見ても32人の議員のうち女性は5人だけ。もっと女性議員が増えれば、もっと女性の声が市政に生かされるのに……。

### 立川市子さん、議会を傍聴する



次は、若手だけれどキャリアのある男性議員。盛んに「住民が主人公」の政治を訴えています。質問が進むにつれて熱が入ってきて、なかなか迫力あるやりとりでした。おやおや、突然一人の議員が立ち上がって出て行ってしまいました。何をしに行ったのでしょうか。そういえば空席



も。市民の代表である議員が大事な議事を欠席するのは、よほど重要な理由があるのでしょうか。3人目の質問もつつがなく終了し、午前の部はこれでおしまい。傍聴席の堅い座席のせいで臀部がしびれてきたので、私もこれで帰ることにします。ふとまわりを見まわすと、傍聴席には数えるほどしか人がいません。なんと淋しいこと！これでは議員も張り合えないでしょう。私たちが

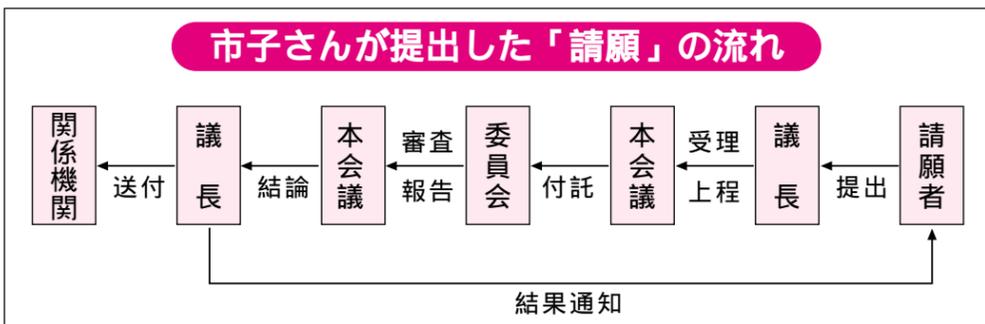
### 立川市子さん、市議会への請願に挑戦する



選んだ32人の議員に期待し、その活躍を見守ること、応援することが、選んだ者の責任ではないでしょうか。この次は、誰かを誘って傍聴に来ようと思います。

市政に私たちの意思を反映させたいのなら、市議会への請願という方法があります。いつもアイトと一緒に活動しているグループで、「食の安全」について十分な対策を取るよう、市議会から国に意見書を出してもらったための請願をしようということになりました。議会事務局に行くと、文書の形式や書き方のひながたがあり、事務局職員がいていろいろ説明してくれました。請願には、一名以上の紹介議員が必要なのですが、仲間の一人が、「A議員は私の団体と近い政党から出ているか

### 市子さんが提出した「請願」の流れ



ら、話してみる」と言ってくれました。さっそくA議員にお会いすると、熱心に私たちの話に耳をかたむけ、請願文に目をとおり、「大切な問題なので、できれば全部の会派から紹介議員を出してもらったほうがいいですよ」と、ほかの議員さんへの橋渡しを約束してくれました。A議員と各会派の議員に説明してまわると、全会派から紹介議員が出てくれることになり、各議員の名前を入れた請願文に押印してもらえました。請願の締切日である、定例

### 私の一言



### 議会・審議会・請願についてうかがいました。

市議会は遠い存在だと思っていたが、一般質問はいつも通る道路のことや、知り合いの子どもが通っている学校のこと、水道水のことなど、とても身近なことだった。立川市のことを決めるのは市議会なので議員はよく考えて選びたい。

自分は市政には関心がなかったが、市政に関心のある誰かが、市議会をチエックしてくれているのだと思っていた。人まかせでなく、自分も市民として傍聴しなければいけないのだ。

議員さんも緊張感のない人がいるね。質疑応答中なのに雑談する人、寝てる人、携帯電話を切っていない人もいた。

市議会を傍聴している人が少なかった。子どもを連れては入れないし、仕事をしている人は行けないので、傍聴する人も限られてしまうのか。また、休憩時間があるのに、会議中に入っている議員がいるのは驚いた。



傍聴者はこれだけかい、みんな関心がないんだね。私は何とか議員さんにがんばってもらって、生活をよくしてもらいたいと思って、応援しているんだよ。

公募で審議会の委員になりました。正式な場なので自分の意見が市政に伝わる気がして、うれしいような、恐いような……。また、委員会に参加したことで、立川の市政についていろいろ知ることができました。

審議会が、物々しい雰囲気だった。自分は場違いな所にいるような気がした。でもめげずに意見を言いたい。

(40代女性)



(60代男性)

(40代女性)

(30代女性)

(40代女性)

(40代女性)

# 消費生活相談コーナー Q&A

**Q** 業者が家に来て、2万円です排水管清掃をするというので頼みました。清掃が終わると、床下をみてあげると言って、家にあがりこみ、床下にもぐって、湿気がひどいので換気扇が必要、天井も同じようにする必要がある、今日なら120万円のところを80万円にするというので契約をしてしまいました。一人暮らしのところへ、4人も男性が来て、勧められたものです。排水管清掃についてはお願いしたものなので支払いますが、換気扇については高額なので解約したいのですが、できるでしょうか。

**A** 8日間のクーリング・オフ期間が過ぎていたのですが、内容証明郵便で解約の申し入れをした後、当コーナーで、相談者と業者で話し合いを行いました。その結果、解約には応じられないが、25%割引するというので、相談者も納得しました。

【アドバイス】  
このほかにも、「年に1回は排



水管清掃をするのは当然のこと、無料で清掃する」、「近所で異臭騒ぎがあったので清掃します」と、排水管清掃を勧められたという相談がよせられています。清掃後、無料で床下点検をしてあげると言って、湿気がひどいからと換気扇の取り付けや調湿剤の敷き込みを勧め契約させる例が多いようです。設置したばかりの他業者の換気扇を「役に立たない」とはせず、自社の製品を契約させる等の悪質な事例もあります。

訪問販売で低価格の商品やサービスを提供し、消費者の信頼を得た上で、次に高額な契約を勧めるという販売方法が増えています。本当に必要かどうか、その場で判断せずに慎重に検討しましょう。

会初日の3日前、事務局に請願を提出しました。請願は、市議会が始まると、本会議で厚生委員会に付託されました。委員会の当日、委員の意見や説明が続き、私も請願した趣旨などを話しました。

無事、請願は採択され、後日の本会議でも採択、国に送られた「意見書」が私たちのところにも送られてきました。ドキドキすることもありましたが、請願により私たちの思いが伝わって、とても晴れやかな気持ちになりました。

## 審議会等へ参加しよう



市政への参加の一つとして、審議会等の委員になることもあげられます。審議会等は重要な施策や基本的な政策を策定するにあたって調査・審議を行う合議機関です。地方自治法や市条例により設置されていて、立川市には現在、都市計画審議会、公民館運営審議会、学校給食運営審議会など38の審議会等があり、その内容は多岐にわたっています。そこで審議され、出された答申は、最大限尊重され市政の参考とされます。

数年前まではどの審議会等にも女性はごく少なく、学識経験者や各種団体代表者等で構成されていました。しかし現在は、「公募」による市民も加わり女性も徐々に増えています。公募は市の広報などに載っています。

立川市は、第三次男女共生社会推進計画に基づき、委員全体の35%に女性を起用しようと努力しています。8月1日現在の女性の参画状況は22%ですが、内容についてはまだ偏りがあると言わざるを得ません。その理由としては、専門知識、経験を持つ女性が

### 消費生活相談コーナー

立川市では、専門の消費生活相談員が皆さんの相談を受けてその問題解決や被害防止のためのアドバイスをしています。困ったとき、おかしいと感じたときには、ひとりで悩まずお電話ください。相談は無料、秘密厳守で行っています。

相談受付 月～金曜日  
午前9時～正午  
午後1時～午後4時  
TEL042-528-6810

### カウンセリング相談

毎日の生活の中で、苦しいこと、困っていること、どうしたらいいかわからないこと、ひとりで悩んでいませんか。専門のカウンセラーがあなたの悩みなどを整理したり、解決のための糸口を探してお手伝いをします。面接（要予約TEL042-528-6801）と電話相談（TEL042-528-6802）があり、土曜日は電話のみの相談となります。相談は無料、秘密厳守で行っています。

相談受付 火・木・土曜日  
午後1時～5時

## 気になる言葉



リップダクティブ・ヘルス/ライツ

直訳すると「性と生殖に関する(女性の)健康と権利」子どもを産むか産まないか、もし産むとしたらいつ、誰と何人、どんな間隔で産むのかを自らが決めることは女性がもつ権利であり、それらに関する決定権は国や宗教、社会慣習などにはなく女性にあるのだという考え方で、女性の真の自立には欠かすことのできない重要な概念です。

また、女性が生涯にわたって自分の健康を確保するためにも、このことは社会的・法的・政治的に保障され、そ

少なかったり、団体の代表に女性が少ないことなどがあげられます。また、特に公募する場合は、会議の日時・場所の設定や、保育などを充実させていくことも今後の課題です。

審議会等は原則として公開されていて、申込み制で傍聴できます。どのように審議、答申され、市政に反映されるのか、あなたも傍聴したり、委員になってみませんか。

審議会等とは、懇談会、協議会、委員会が含まれます。

### エコマネー

エコマネーの「エコ」は環境(エコロジー)、経済(エコノミー)、地域(コミュニティ)、という三つの言葉から生まれた造語で、特定の地域だけで通用する通貨です。1929年世界大恐慌時ド

に必要情報やサービスの提供も、保障されます。こういう考えが生まれた背景には、女性が産む道具や性の対象として扱われてきた現実があります。94年に開かれた国連主催の国際人口開発会議でこの考えは採択され、その後20年の行動計画に取り入れられています。しかし、世界では今も貧困による医療不足・妊婦の栄養不足・非法性のヤミ中絶・慣習による女性性器切除(割礼)などで、毎年50万人以上の女性の命が奪われており、その実現はまだ程遠いところにあります。

エコマネーは使うことで初めて意味が生まれるお金です。普通のお金に換金したり、投資で利子を生むこともなければ、貯蓄する意味もありません。自分の「できること」「してほしいこと」を登録しておく、一方通行的にボランティアをして助けるだけでなく、自分も誰かに助けてもらうという、相互扶助の関係を生み出します。このように循環していくことにより、地域での交流の輪が広がるきっかけとなります。

市民が審議会に参加できることもよいことだと思えます。本日は公募で委員になりましたが、事情があつて公募できず今日は傍聴にきました。将来のビジョンを持っていたら、どんな話し合いが深まるのに、ちょっとはがゆい。

審議会委員の公募はよい制度だと思つた。公募でない方は審議内容に、よりマッチした人選をお願いしたい。

(30代女性)

以前他市に住んでいて、そこで請願や陳情の活動をしたことがあります。そちらは陳情も請願と同じあつかいで審議されたので、立川でもそうならばより市民に近くなると思っています。

(50代女性)



# 立川・この人

## 患者のための医療をめざして



うちだ えいこ  
内田絵子さん  
194年生まれ。錦町在住。  
「内田絵子と女性の医療を考える会」主宰、  
著書に「メイド・イン・シンガポールのおっぱい」「おっぱいが二つ欲しい」北水

今夏、国立女性教育会館で講演なさいましたね。

94年に夫の赴任先であるシンガポールで乳ガンの手術を受けました。その時の経験から、21世紀の女性の医療についてお話しさせていただきました。

私が帰国しないでシンガポールを選んだ理由は、まず患者が納得のいく形で告知を受けられるインフォームド・コンセントが確立していること。次に、診断や治療方法について患者が複数の医療機関に意見を求めることができるセカンド・オピニオンの存在。痛みに対する配慮があること。これらは現在の日本ではまだ十分ではありません。そして何よりも、入院中の食事のメニューが豊富であること。患者が自分の食べたい物を選べるというのは、小さいことのようにですが、実は人権が守ら

れていることを意味します。その後、乳房再建の手術を受けました。2度の入院中に書き留めていた日記が出版社の目にとまり、「メイド・イン・シンガポールのおっぱい」という本になりました。

帰国後、「女性の医療を考える会」をつくられたのですね。

私の個人的な体験を、アイムで行われた「5分間わたしの主張」でお話したことがきっかけで、会ができました。当時、乳ガン体験者の多くは家族にも話せない悩みを抱えていましたし、乳房再建もまだあまり知られてはいませんでした。語ることで癒しになると気づいたので。

でも私は、会を続けていく上で学びと癒しだけでは不十分だと思い、アジアへの発信という、もう一本の柱を加えました。

シンガポールの充実した医療を支えていたのは多くのアジアの女性たちでしたが、彼女たちは貧しく、自らは恵まれた医療を受けるすべもありませんでした。そんな女性たちを応援したいと、アジアの民芸品を紹介したり、バザー

などを通じて寄付を続けます。50万円あれば看護師を2人育てることができると

3月に開かれる「くらしフエスタ立川」の実行委員も引き受けておられますが、

私の活動の原点がアイムにあるわけですから、何かしらアイムのお役に立ちたいと思つたのです。実行委員会には何十年も市民活動を続けてこられた方もいて、そんな方たちから何かを得たいと思えば、まず自分から発信することが必要だと考えています。

ですから、私は自分の持っているもの、考えていることを出し惜しみしないで全部出す。皆さんからも出してもらう。こうしたやりとりをしながら何かを創り上げていくって素敵なことじゃありませんか。

バイタリテイあふれる絵子さんの夢は？  
私はガンになったことは神様からの贈り物と思つています。「会」はアイムで毎月2回定例会を開いています。賛同してくださるドクターを招いて学習会も行っていますが、日本ではまだまだ医者と患者の壁は厚い。特に女性患者にとっては。医療が誰のためのものかという原点に戻り、患者のための医療をめざしてみんなでドクターと井戸端会議ができる、そんな輪が広がっていくといいなと思つています。

## アイムインフォメーション

アイムでは女性も男性も共にいきいきと暮らせる男女共生社会を築くために、さまざまな事業を実施しています。

### 第1回くらしフェスタ立川 アイムで発見 いきいきライフ 見て、ふれて、たしかめて

くらしの中の身近な問題をとりあげてさまざまな情報交換や体験のできる、新しい催しです。  
日程 2003年3月1日(土)・2日(日)  
会場 立川市女性総合センター・アイム

食のゾーン	塩分・糖度テスト / 手量り体験 / 食材・献立の展示など
環境のゾーン	ごみ分別体験 / 環境マップ / エコグッズの展示など
健康医療のゾーン	健康体操 / アロマセラピーなど
手作り・子育てのゾーン	おもちゃの手作り / 遊び / 子育て相談など
ホールイベント	講演会「食の安全」 講演会「免疫力アップ」
他に、100円カレー・喫茶コーナー・ポスター展・農産物の販売・骨密度測定など。	

3月3日～8日はフェスタ週間です。期間中、いろいろな講習会などが行われます。詳しくは2月1日発行の市報をご覧ください。

### 第15回アイムフォーラム2003

今年度の内容は「自立について」  
日時 2003年3月2日(日)13:30～16:00  
場所 立川市女性総合センター・アイム 1F ホール  
講演 落合恵子さん(作家)  
アイム登録団体の活動展示もあります。  
詳しくは2月1日発行の市報をご覧ください。



### 立川市消費者問題研究会委員の募集

消費者問題に関する身近な問題について、一緒に調べたり、考えたりしてみませんか。2002年度は「健康な生活を維持するための食生活」をテーマにグループ活動をしています。対象は市内在住の20歳以上の方。  
活動期間 2003年4月～2004年3月(予定)  
募集人数 20名  
締切 2003年3月31日  
謝礼はありません。男性も参加しています。ご希望の方は、女性総合センターまで直接お問い合わせください。

### 第6回マイメッセージ～5分間わたしの主張

女性による意見発表会を行います。  
日時 2003年2月2日(日)13:30～16:00  
場所 立川市女性総合センター・アイム 5F 第3学習室  
ゲスト 女性講師 田辺鶴英さん  
演目「鶴英ちゃんの修羅場介護日記」



#### トピックス

内閣府では「女性に対する暴力根絶のための、シンボルマーク」を制定しました。取り組み内容や相談窓口など、内閣府のHPでご覧いただけます。

内閣府HP <http://www.gender.go.jp>

アイムでは、女性への暴力の取り組みとして、ソロプチミスト立川の協力を得て、相談カードを市内13か所に設置しています。

